

新しい学問のスタート

「汎太平洋フォーラム」の設立と展望

新野 幸次郎

（神戸大学経済学部教授）

増田

光吉

（甲南大学文学部教授）

大島

襄一

（関西学院大学文学部教授）

安川

克己

（神戸大学理学部教授）

坂口

忠司

（神戸大学工学部教授）

溝井

泰彦

（神戸大学医学部教授）



安川克己さん



新野幸次郎さん



坂口忠司さん



増田光吉さん



溝井泰彦さん



大島襄一さん

——太平洋とその関係諸国の自然と人間に関わる問題を
兵庫県内の七大学が共同で調査研究する「汎太平洋フォ

ーラム」が1月27日、ポートアイランドの国際交流会館
で開かれた設立総会を機に正式発足の運びとなりまし

た。一県単位の、しかも大学や専門の枠を超えた共同研究の取り組みは全国でも珍しく、国際都市を目指す神戸ならではの試みと、各界から期待の声が寄せられています。また、今年は世界コミュニケーション年に当たり、太平洋地域への関心の高まりとともに時宜を得たスタートといえるでしょう。今回は、汎太平洋フォーラム理事長の新野先生をはじめ中心的メンバーでいらっしゃる先生方に、同フォーラム発足の経緯と今後の展望、さらには各専門を通じた国際交流のよりよいあり方にについてお話し願いたいと思います。

フォーラムの前身は海洋科学研究センター

新野 まず、汎太平洋フォーラム設立の経緯ですが、発足に当たっては、私自身というよりは坂口先生、安川先生らが中心となって下準備がなされました。最初に両先生からご説明いただき、その後、補足すべき点があれば私がお話しするということにしましょう。

安川 実は、どこを『発端』にしたらいいか悩んでいるんです。あえて限定するとしたら、以前、神戸大学にあつた海洋科学研究センター設立の動きが挙げられるでしょう。センター構想そのものは臨調予算の影響で一頓挫しましたが、その時関係した我々が『せっかく集まつたのにこのままバラバラになるのは忍びない。いつそのこと、太平洋に興味を持つ人の集まりにしては』と言い出したのが、そもそものきっかけです。それからのいきさつは、構成力、組織力の優れた坂口先生の独壇場ですか（笑）ご本人に続けてもらった方がいいでしょう。

坂口 研究センターは理、工、農の三学部で構成されるはずでしたが、その準備過程で気づいたのは、日頃、接觸のない三学部の人が集まると、よい意味での刺激を受けるということです。互いの研究内容を話し合う場が、まず必要ではないかと考えていくうちに、段々欲が出て一大学の枠を超えた県規模の集まりの方がベターではないか……と構想はふくらんでいきました。その段階で新

野先生にまとめての中心になつていただき、他大学や市、県などに働き掛けをしていただいたわけです。その間、私自身が印象深かったのは、お声を掛けたほとんどの人が積極的に賛同して下さったことです。これが大きな励みとなり、どうにか設立総会までこぎつけることができたポイントだと思います。

新野 私の方は、今お話しがありましたように、構想が実つてから参画しました。色々と話し合いを重ねる中で単に太平洋の自然科学的分析だけでなく、広く人文・社会科学など全分野を網羅した研究組織にしようということになり、県下の各大学に協力を呼び掛けました。幸い関西学院大学にしても、甲南大学にしても年來、個人的にご指導いただいている先生がいらっしゃり、その先生方を通じて各大学長先生の賛同も得られました。

また、ご存知のように県は国際交流には非常に熱心です、市もまた『国際都市』『コンベンション都市』構想を標榜しその分野には大変に力を入れています。さらに、商工会議所も、ちょうど東南アジアについての勉強会を開いて行こうと考えていた矢先とあって、ぜひバッカアップしたいと約束して下さいました。こうして各方面にお願いし、今日に到つたわけです。

考えてみると、国公私立や学問の枠を超えた研究体制の結成は全国でも初めてのこと。しかも、期せずして世界コミュニケーション年に当たりました。新聞報道への反響も大きく、機運は高まっています。ただ、フォーラムはスタートしたばかりで、今後うまく動くようになれば、もっと沢山の先生方に興味を持つていただけるのみならず、リーダーシップをとつてもらえるようになるでしょう。『あすなろう』よりも、もっと現実的な意味で将来、期待を掛けて努力しなければならない組織だと思います。

生かされていない神戸の土壤

——では、各専門を通じたフォーラムへの抱負と、各

増田 現在、京大教授の米山俊直先生が甲南大学にいらした頃、環太平洋の研究体制を作つてはどうかと言われたことがあります。その時は「えらいごつついこと言うな」(笑)と聞き流していましたが、それが今、実現できて大変うれしく思っています。

ただ、永年フォーラムの準備を進めて来た神戸大学に比べると甲南は、いわば「二次感染」みたいなものですから(笑)、大学内部の意志統一がとれていません。多分、賛成者は多いと期待しておりますが、学長以下、学部単位の討論を重ねたうえで、名簿を提出したいと思いますので、ご了承下さい。いずれにしても、インターナビーシティーという型で、今後、学際的にも神戸大学がリーダーシップをとつて下さればありがたいですね。

さて、学内の国際交流の現状について触れますと、あまり知られていませんが、甲南にはイリノイ大学と提携した交換留学制度があり、7期生の今年は33人の米国学生を一年間、教育しています。これは、同大学を窓口としてハーバードやコネチカットなどの私学を対象にした留学制度です。最初は、学内にもかなり抵抗がありました。7年目にしてようやく自然な感じになってきました。非常によろこんでいるのは、十分とはいえないまでも全学部に渡つて英語で講義ができる体制が組めたことです。

新野 ほおー。それは立派ですね。

増田 神戸との関連で申しますと、これは、イリノイ大学から提携のプログラムを受けた後で同大学の人から聞かされた話ですが、神戸の大学を選んだ理由は「神戸の土地柄が気に入った。東京は学生に日本を体験させるにはふさわしくない」というんですね。事実、それを立証するものとして、うちのプログラムでは学生全員がホーム・ステイをしているわけです。当初は私も懸念したのですが、年を追うごとにホスト・ファミリー探しにはほとんど問題がなくなりました。ただ、神戸にはこうした

国際的な土壤がありながら、それを十分に生かしきれないきらいがある。大学側ももとエーリア・スタディーを強化するとともに、市民の間でも普段の受け入れ体制を完備する必要があると思います。

肩のこらない集まりがあつてもいい

大島 関西学院はその成立のいきさつからして国際的であるはすですが、個人的には国際的でないながら組織的な対応は従来から十分とはいえませんでした。とはいえた

現在、アメリカ、カナダ、インドネシア、中国各研究会があります。とくに関学の創立に深く関わるアメリカの南メソジスト大学(SMU)とは毎回、学生や教授の交換をしており、向こうではこのプログラムが高く評価されています。SMU以外の学生にも人気があるようです。また、学内には留学生を受け入れる国際センターを設け、そこでSMU留学生のため年間を通じた英語の授業も行われています。実は、以前、学内の研究プロジェクトとして「伝統文化とキリスト教」をテーマにアンケート調査を行つたことがあります。太平洋圏をフィールドとした国内の研究者二三百人を対象としたのですが、その集計をみて非常に印象的だったのは、多くの方々が、互いに情報から孤立した効率の悪い仕事をなさつていていう事実です。まさに、専門を超えたインター・ファクルティー(学部連合)、さらにインター・ユニバーシティーという型での協同研究の必要性を痛感しました。

溝井 坂口先生や安川先生のお話の続きになりますが、大学の運営会議とは違つた、もっと肩の凝らない集まりがあつてもいいのではと、かねがね思つてきました。やや次元が低いかもしれません(笑)、互いの研究の内容や知識を交換できる場があれば、どれほど楽しいだろうと考えていたところへ、坂口、安川両先生のお話をうかがい、それは面白そだと飛びついたわけです(笑)。医学の面から神戸大学の国際交流をみると、79年から文部省と学術振興会の指導で医学交流センターがスター

トしています。これは、神大を窓口とした日本とインドネシアの学術交流機関で、将来はフィリピン、シンガポール、タイなど対象国を広げるにはどうすべきかを検討中です。

以上は医学だけでやることですが、それでは手にあまる領域があります。例えば、最近の遺伝子工学の発達によつて色々な病気の原因が究明されていますが、これも医学だけでなく生物学の方々との共同研究の成果といえるでしょう。また、私の専門とは少し異りますが、血液型を調べて行くと、アジア人と白人では血液型の分布に顕著な違いがあるというデータが出ています。こうした“民族”に関わる問題は、人類遺伝学や社会学、あるいは地理学、言語学など多分野に渡つた知識の交換がなければ解決できないでしょう。そんな意味で、医学だけなく色々な先生方と学術交流が可能な今回のフォーラムには、大いに期待しています。

日本人の視点で見た太平洋を

安川 外国生活とか外国人学者との共同研究などは外して、個人的な国際交流の経験はと言えば、一昨年春から昨年の正月にかけて、民族・医学、水産など各大学の研究班とともに鹿児島大の船でフィーリーへ行つたときのことが挙げられます。フィーリーには2週間足らずの滞在でしたが、現地の南太平洋大学との協力体制も完璧で、スムーズに仕事ができました。その時、感じたのは、とくに開発途上国との共同研究の場合は、こちら側が積極的に働き掛けていかなければ、向こうも一生懸命になつてくれないということです。

一方、南太平洋の島へちよくちよく出掛けて行くようになつて気づいたんですけど、現地人をアルバイトに雇うことはあっても、調査にかまけて彼らとの人間的なつき合いがないのは問題ですね。

大島 ものの見方という意味で我々が注意しなければならないのは、外国の文献や既存の資料に、ほとんど毒さ

れていると言つていいほど先入観を植えつけられていることです。それを、今、安川先生がおっしゃった現地の人達との関りで思いました。端的な例を挙げれば、キリスト教の宣教師たちが非常にいい仕事をしたことには違ひありませんが、彼らははつきりとした価値観を持っていました。つまり、ヨーロッパの価値観から外れたものを“未開”と呼び、悪と呼んで来たわけです。それを翻訳したものを見た日本人が読み、同じ立場で見ていくのに問題はないか。以前、メラネシアを訪れたとき、ある現地人が、白人の人類学者に嘘の民話を話してやつたと得たとして告白するのを聞かされました。彼らに言わせると、日本人は同じ有色人種で白人のように自分たちを奴隸あつかいせず、仲間になつてくれると信じている。それは、パプア・ニューギニアのある州知事が我々を迎えて「私達もあなた達も同じアジアだ」と挨拶した心情と同じだと思う。アジア諸国を訪ねた日本人は絶対にヨーロッパ人と同じ見方をしないでほしい。そうすればもっと色々なものが見えてくるはずです。これらは日本人でなければ見られない太平洋を考えなければいけない気がしますね。

坂口 フォーラムそのものは大規模になつてしまいましたが、私自身の原点はあくまで、色んなことを知りたいという知的好奇心です。また、最近、自分の中に余裕が出来せいか、諸外国にも目が向くようになつてきました。それは単にデータが欲しいということだけでなく、各国民の生活を知りたいということです。国際交流の原点は個人と個人のつき合いに他なりません。工業的な問題だけで処理してきたものを、もう少し幅広い視点からとらえて行けば、新しいエンジニアリングの方法がみつかるかもしれない。それを解明するのがフォーラムへの期待です。

新野 いつの間にか猿回しの猿の役を引き受けてしましましたが(笑)、経済的に見ても、例えば日本の輸出の27%が米国、27%が東南アジアと、実に過半数を超えた部

方が太平洋地域に集中している。現在、問題になつてゐる貿易摩擦にしても、フォーラムでの交流を通じて有効なアプローチができるに違ひありません。

また、神戸、兵庫県下を中心に新しい学門研究の雰囲気作りにも役立つと同時に、マスコミを利用して、研究成果を広く発表することによつて、神戸のひいては日本国際化に貢献するきっかけができると思っています。

外国人の参加が当面の課題

大島 関学にはASEAN関係の講座がありますが、そこでは年に1、2回、インドネシアの総領事に講師を務めてもらっています。せつかく神戸にいながら、そういう機関を使わない手はない。彼らは広報用の映画や資料も持つており、機会さえあれば出たがっています。神戸大阪にある大使館や総領事館を有効に使えば、先方の意向にも添えるし学生のためにもなる。神戸の地の利をもつと有効に使うべきですね。

新野 神戸には消費者運動にても、合目的的、先進的な活動が実り易い、独特的の氣質や風土がありますしね。

坂口 フォーラムの定款には書かれていませんが、準備段階では外国人会議も考えていました。外国人関係者の参加も当面の課題のひとつといえます。

大島 各大学にいらっしゃる外人スタッフの中にも、声を掛ければ必ず参加される方がいらっしゃるはずです。

新野 うまく行けば、大学の枠を超えた講座の開設も夢ではありません。

新野 以前、宮崎市長がアジアからの、とりわけ私費留学生に経済的、または人間関係における問題が多いので大学側に検討願いたい、と発言されていました。フォーラムの中でも今後、ご提案願えたらと思います。

溝井 留学生会館など関連施設の整備状況は各大学、いかがなんでしょうね。

大島 それもありますが、留学生を隔離してしまつては日本を学んだことにはならないと思います。

新野 そうですね。ホーム・ステイが無理ならホーム・ビジットでもいい。さらに、日本人学生と協同生活ができる施設などもどんどんできればいいですね。

増田 ホーム・ステイの場合、英語の話せない家の方が留学生も必要に迫られて日本語を覚えていいらしい(笑)とですが、意外と日本人は気づいていない。

坂口 今後、国際交流を進めるうえで言葉の問題は重要ですね。片言でもいい、現地の言葉を話すと相手の表情が途端に変わつて親密度を増してくる。あたりまえのことですが、意外と日本人は気づいていない。

増田 話は違いますが、米国の離婚率が非常に高いと騒がれていますね。ところが、統計的にみるとインドネシアが世界一らしい。高齢化の問題にしても21世紀には高齢者の5、6割がアジアに集中するなど、アジア、オセアニアを総合的に考える必要性は益々高まっています。

新野 そうしたエーリア・スタディーズから、逆に日本が学ぶことも沢山あるでしょうね。

坂口 さらに、諸外国が日本に期待していること、本当に必要としていることが学べれば、それが最高の国際交流の礎になると思う。また、フォーラムを通じて、学問的にも一段レベルアップし、21世紀の胎動としての新しさを学問のスタートにしたいですね。

安川 一言つけ加えるなら、楽しい会としても成長して欲しいですね(笑)。

(ブランドウブランにて)

いですね。

フォーラムは21世紀への胎動

新野 以前、宮崎市長がアジアからの、とりわけ私費留学生に経済的、または人間関係における問題が多いので大学側に検討願いたい、と発言されていました。フォーラムの中でも今後、ご提案願えたらと思います。

溝井 留学生会館など関連施設の整備状況は各大学、いかがなんでしょうね。

大島 それもありますが、留学生を隔離してしまつては日本を学んだことにはならないと思います。

新野 そうですね。ホーム・ステイが無理ならホーム・ビジットでもいい。さらに、日本人学生と協同生活ができる施設などもどんどんできればいいですね。

増田 ホーム・ステイの場合、英語の話せない家の方が留学生も必要に迫られて日本語を覚えていいらしい(笑)とですが、意外と日本人は気づいていない。

坂口 今後、国際交流を進めるうえで言葉の問題は重要ですね。片言でもいい、現地の言葉を話すと相手の表情が途端に変わつて親密度を増してくる。あたりまえのことですが、意外と日本人は気づいていない。

増田 話は違いますが、米国の離婚率が非常に高いと騒がれていますね。ところが、統計的にみるとインドネシアが世界一らしい。高齢化の問題にしても21世紀には高齢者の5、6割がアジアに集中するなど、アジア、オセアニアを総合的に考える必要性は益々高まっています。

新野 そうしたエーリア・スタディーズから、逆に日本が学ぶことも沢山あるでしょうね。

坂口 さらに、諸外国が日本に期待していること、本当に必要としていることが学べれば、それが最高の国際交流の礎になると思う。また、フォーラムを通じて、学問的にも一段レベルアップし、21世紀の胎動としての新しさを学問のスタートにしたいですね。

安川 一言つけ加えるなら、楽しい会としても成長して欲しいですね(笑)。

(ブランドウブランにて)

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センター・プラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

株式会社ニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 葛野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



動物園飼育日記 —<209>— 亀井一成 <王子動物園学芸員>
<写真撮影>

旧諏訪山からのヒグマ逝く



満三十五才（人間では90才位）最長老だったヒグマの「ママ」がこのほど老衰死した。もう、あの旧諏訪山動物園を知っているのはゾウの諏訪子だけになってしまった。老化のため足腰が弱まり視力も衰え運動場への出入にも不自由な動きを見せていて、食欲だけはあって、好物のアンパンやビスケットを持って呼びかけると、「ウフーン」と返事をしてくれたのもつい一週間前のこと



ママの回想写真。右は生後2ヶ月の子供にお乳を飲ませているところ。左は5ヶ月に成長した子供と遊んでいる

こんなに早く逝ってしまうとは誰も思わなかつた。暖春を目前にして、と思うと残念でならないママの死だつた。

【戦後初の猛獸だったヒグマ夫婦】

昭和二十五年三月神戸産業博覧会が現王子公園で催された。その呼びものにインドゾウの摩耶子を導入、その飼育員だった私は二十才、木造のゾウ舎にクサリをかけて飼育を始めた。勿論夜も泊り込みの毎日が続いた。ある朝、ヒグマが逃げた！ という知らせを受けた。「あのメスグマや！」 私は逃げたクマがあのどちらかだとすぐ分つた。暇を見ては会場内に若いヒグマ二頭が来ていることを知つて以来よく触りに行つたからだ。やはり50キロ位のオスではなく、小さい方のメスグマが逃げていた。鎖の扱い方が小さいだけ、油断して充分に繋いでいたのが原因であった。北海道郷土館でのアイヌ彫り実演場横に二頭のヒグマがクサリに繋がれ夜はオリに入れてあった。その若い二頭のクマが、ボバイトママ、どちらも二才を迎えたばかりで人にもよく馴れていた。

半年の会期終了後、ゾウは旧諏訪山動物園のゾウ舎へ徒歩で移つたが、実演場横に置かれたヒグマ二頭の飼主が突然帰郷、誰もいなくなつたヒグマの処遇に主催者側も困り果てていた。それなら引き取りに来るまで、といふことで諏訪山動物園でゾウと共に飼育することになつたのである。しかも運びこまれたオリが戦争中にいたシロクマ舎であった。そのオリの天井や壁には生々しくかつてのシロクマの生命の跡が残つていたこと、私ははつきりと覚えている。

【斜面建築の先駆者諏訪山動物園】

金星台へ向けての諏訪山公園へ急斜面の山道を登つて諏訪山動物園の入口があつた。山側に事務所と出札口。入園すると子ザルやオーパム類、山側はアシカ、ベンギン、ニホングマ、オオヤマネコ、その向いにハクチョウ、オンドリの水禽池。さらに南側に売店。その地下が

動物の調理場であった。売店前が園長室。そしてゾウ舎その北向いにシロクマ舎があつた。さらにピューマ、ヒョウ、トラ、ライオン舎、モンキーホール。階段通路下に設けたワニ、ニシキヘビ舎。その中段にラクダ、最も下にタンチョウ、インドオオヅル、カンムリヅル舎があつて、このツル舎は現在も王子動物園で改修保存され、オオヅルやガゼン類の舎として使用している。山の斜面を余すことなく利用した動物園でシカ、ヤギ、メンヨウなどは、野生そのまま斜面にフェンスを作り、放し飼いをしており、クジャクの放し飼いは日本でも有名だった。王子動物園へ移転後、一部鉄骨舎は撤去もしているが、基礎部分はそつくり残されており、跡地に立てば今も、かつてのことが生きしく甦つてくる。斜面動物園であるが故、飼料の搬入や汚物の撤去は毎日何回となく背おつての人力運搬。おかげで足腰の筋力が至つて強くなつた。

【十二産十五頭出産育児の記録】

開園六年後の一月、初産二頭を出産、無事育てて十五年間に十二回、十五頭の子を母乳で育てた。その母性は王子動物園史不滅の記録である。出産時の餌、クマは雑食だから蒲焼を使つたあと、あの骨と頭ばかりのアラをおよそバケツ二杯。毎日、三の宮市場内のウナギ屋にまで貴いに行き、ゴリラやチンパンジーの食べ残しの白菜やイモのヘタをバケツ三杯。それにライオンやトラの残した鯨肉、さらに園内食堂の残飯を入れ約三時間大釜でとろとろ煮つめる。つまりクマのチャーンコ鍋だ。これを、オスのボバイもメスのママもががつが食べ、よく肥り、よく子を生んでくれたのであつた。

(現在、クマ類の餌。焼魚。クマ用ソーセージ、パン、サツマイモ、白菜、リンゴなどでチャーンコ鍋は何時の間にやら炊かなくなつてしまつた。)

【ヒグマの赤ちゃん20センチ400グラム】

クマの妊娠期間はおよそ六ヵ月。毎年十二月末から一月上旬に一と二子を生む。哺乳は投だし坐りで、乳頭は



大きくて、優しいボバイとは大の仲良でした
だすのに
に四つあ
つてその
母親の姿
はまるで
人間そつ
くり。眼
は一ヵ月
しないと
開かない
し、歩き

【穴こもり山盛りウンコの謎】

動物園でも出産近くになると稲わらや落葉ですり鉢伏の巣を作り、うずくまつたら、もう巣を決して汚さない。

冬眠じやなく、穴こもりだから餌は与えれば幾らでも食べるし、ウンコやシッコもする。だが、その清潔ぶりには驚いた。狭い寝室に一ヵ所ウンチの場所があつて、出産後も子を胸に抱いては用便を行い、三ヵ月以上も積上げられている。だが何故か野生では腐敗臭がないといふ。子連れの母グマは荒々しい。無理に掃除することは避けるべきだろう。ならば樹皮や樹葉を食べさせると固体便となる。つまり自然食が、そうした冬の穴ぐらを汚さないのである。私はそう考え、毎日のようにチャーンコ餌に桜の葉や野草を添えることを忘れない。また、

若クマ当時はこのママをクサリで連れだし、ショーモーもさせた。だが思春期を迎えていたママは猛然と私に襲ってきた。その時左腕に重傷を負つたその傷跡がママから貰つた勲章として今も残つてゐる。ママ、ありがとう。

●個性的な専門店経営を探る

話題のひろば

<I>

長野の専門店チーム 神戸セミナーの旅



左上は商工会議所特別室でパネルディスカッション（2月3日）右上は北野クラブで親睦会（2月2日夜）右下は北野町英國館で三浦明定館長を囲んで真剣に議論、左下は英國館で神戸セミナーを終って記念撮影。

SBC放送の特別企画として信越放送局営業部（田島利雄部長）が個性的な専門店経営を探る「神戸セミナー」の旅を企画。二月二四日の旅行日程で、長野市の専門店経営者約二十名が、このユニークな企画の旅に参加して神戸を訪れた。二月二日ワシントンホテル着。その夜は北野クラブで夜景と神戸ステーキを満喫。三日早晨九時から神戸商工会議所特別会議室で、永田良一郎／永田良介商店社長／芹澤豊男／ブティックセリザワ社長／小泉康夫／本誌編集長▽が講師となり、コーディネーターの本誌小泉美喜子が進行役をつとめ「神戸の専門店の体質と動向、未来」をパネルディスカッション。地方の時代といわれるなかで、キャラクターのある商店街にいかに発展するかを真剣に討議した。昼からは神戸の街を自由に観察、夜は海皇で親睦会、サントノーレでパーティーなど、やかに過夜、翌日、四日は英國館で三浦明定館長が「北野町界隈の観光の中のショッピング動向」を語り、特に長野の街への提案もあって文化遺産と観光の接点やオリジナルブランドづくりの内容等いきいきとした議論が、フロインドリーブのケーキと珈琲が香る異人館の中を飛びかった。いろいろやの昼食後、自由行動「神戸セミナー」は四月に「長野セミナー」へと受け継がれて新神戸駅を後にした。

THE ARIMA SPA
IN APR.

湯の街

有馬歳時記

今月は有馬温泉観光協会専務理事の永岡大純さんをお訪ねして、有馬温泉のちよつと隠れた見所をお伺いした。

★秀吉遺愛の“亀の手水鉢”

有馬温泉の見所と言いますと、瑞宝寺跡公園、鼓が滝公園、炭酸泉公園、ゆけむり広場などの公園、温泉寺、湯泉神社などの社寺と、いろいろあります。あまり知られていないけれど、これはぜひ見て欲しいという“隠れた見所”を教えていただきたいのですが。

永岡 そうですねえ、なかなか難しいですね（笑）。四月というと、これは時期が遅すぎますが、湯泉神社の上にある梅林。七、八年前に有馬ライオンズクラブと有馬温泉観光協会によって植樹されました。実はこの場所に太閤秀吉遺愛の“亀の手水鉢”が置かれているんです。

秀吉が使った手水鉢ですか。

永岡 まあ、そう伝わっているんですが。

その形が亀のよう見えます。この場所からさらに登ると、あたご山

公園へ出ます。この道は町なかにありながら本当に山路という感じのするいい道です。眺望もすごくいいですよ。

有馬温泉は自然に恵まれている温泉郷ですが、四季折々の花も美しいところですね。

永岡 梅といえば林溪寺の紅梅は有名ですか。

「花は有馬に、あたごのこぶし、東み堂の未開紅」と古歌に詠われていますね。

永岡 そうです。元禄時代に再建されたとき、本願寺門主が立ち寄り、梅のつぼみが殊の外、深い紅色をしていたのを賞めて“未開紅”と名づけたと言われて



あたご山にて永岡さん

旅は出会い

ほのぼの心を添えて

政府登録(登旅第78号)

●月光園

神戸市北区有馬町318
TEL (078) 904-0366

有馬の歴史を語り続ける“いで湯の宿”

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

鈴山は典雅な

日本風の館です

国際観光旅館

鈴山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧きでる
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

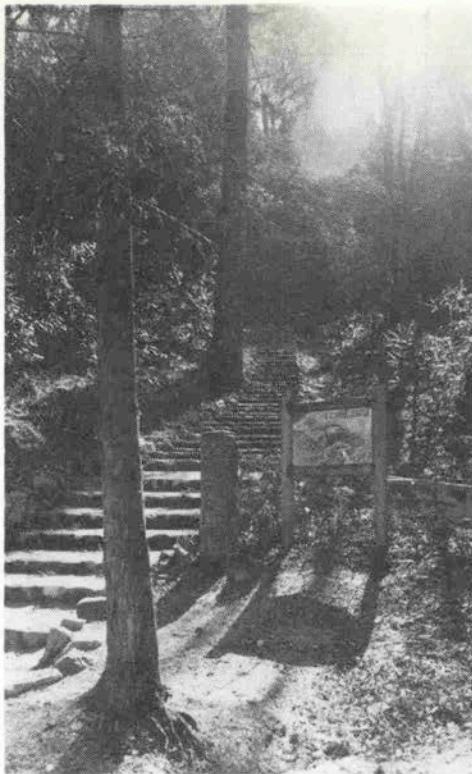
有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291



こぶしの花の美しい「あたご山公園」

いますね。この実を食べると子宝に恵まれると言われています。

★沙羅双樹の白い花

——他にはどういう花がありますか。

永岡 稲荷山のこぶしも綺麗です。これは遠望がいいですね。三月下旬が見どころです。

桜となると善福寺でしようね。確か兵庫県の名木に指定されていると思うのです。

永岡 しだれ桜があります。四月の初め

には美しく咲き誇っています。ここには大正三年四月に国宝に指定された聖徳太子の木像（聖徳太子御二歳像）がありま

す。

若葉、新緑の季節となりますと、瑞宝

寺跡公園、鼓が滝公園などがとくにいいですね。

瑞宝寺跡公園といえば紅葉の美しさでもっとくに知られていますね。別名「日暮しの庭」とも呼ばれていますね。

永岡 そうですね。

永岡さんのが住職をされておられる

念仏寺には沙羅双樹があると聞いておりますが。

永岡 ええ。これは自己ビーアールみたいになってしまいますのですが（笑）、私どもの寺の前庭にあります。沙羅双樹はナツツバキのことですが、六月中頃の、それも小雨が降っているときなんか実に風情があります。

——沙羅双樹と言いますと、「平家物語」のなかにも出て来ますね。

永岡 花の姿に無常感があるんですね。花は一日で落ちてしまうんです。数えてみましたら一番多いときで五百ほども花が落ちていました。

——他にはどういうところがあるんでしようか。

永岡 そうですねえ。妙見寺への登り道なんかもいいですよ。路傍に三十三ヵ所の札所の名前の入った観音像が並んでいます。

——妙見寺は落葉山の頂にありますね。永岡 あそこからの眺めもまたいいですね。

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

結婚式場を完備しています

兵衛

向陽閣

伝統と格式を誇る

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う

Sunny Side up
妙見山センテンスクラブ

TEL (078) 903-1024

木造りの前

御所坊

TEL (078) 904-0551

自然の恵みを
湯けありに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

★神戸の集いから

★日経新聞神戸支社が

井植文化賞受賞を祝う

「神戸の中堅一五〇社」「六

甲海へ翔ぶ」の2冊で、同

賞（報道出版）を受賞した

のは昨年6月。しかし「仕

事柄、時間がとれなかった」

（中西平四郎支社長）との理

由で祝賀会が延期され、い

たが、ようやく2月9日、

国際会館4F兵庫俱楽部で

催された。櫻木茂男神戸経

済同友会代表幹事をはじめ

とする神戸財界人約40名

が参集、日経側からも約20

名が出席した。「一五〇社

といわば、二百、三百と統

に対する神戸財界の期待を

うかがわせた。



支社員が並んで

★第28回神戸二紀展授賞式

と懇親会

今回の受賞者は、田村貴の犬童徹氏、県知事大賞の谷口和市氏らをはじめとする13人。その授賞式と懇親

会が、2月2日、北野の六甲莊で行われた。六甲ライ

オンズ

神戸J

Cなど

の主催

者側か

ら約20

名、一

般会員

の参加

から

約80名

の参加

となっ

た。ま

たフランス、モロッコ、韓

国などから外国人も参加し

国際色豊かな会となつた。

今回は最後まで歓談する

人が多く、熱気あふれる神

戸二紀会の集りだつた。

★三村晴彦・野村芳太郎監

督が神戸シネマハウスへ

2月8日、松竹映画「天

城越え」のキャンペーンで

三村晴彦監督、野村芳太郎

プロデューサーが神戸を訪

れた。神戸国際日活で試写

に開かれた後、三宮高架下

にある「神戸シネマハウス」

に映画ファン約30人が集い

た。活発な意見や質問が

飛び、そのひとつひとつに

両監督は熱心に応えていた

三村監督は野村監督の助

監督を長年務め、この「天

木」の出版記念パーティが

版元の神戸新報社の十七周年記念も重ねて、1月31日

にボートピアホテルで開か

れ、約200人が集つた。

「私の本をサカナに交流が

出来れば嬉しい」と重森さ

ん、県の三木出納長、土井

芳子さんがスピーチ。神

戸新報社も、鹿島武行新編

集長の紹介もあり、元町画

廊の佐藤廉さんの乾杯で交

わる。アサヒファミリー二ユ

ースの編集長重森守さんが、

大目に撮り上げた意欲作

ある。

★重森守「阪神版木」

出版記念パーティ神戸で

アサヒファミリー二ユ

ースをまとめた「阪神版

三村・野村監督を囲んで

女性をはさんで 重森氏(右)鹿島氏(左)

◆小泉パーティご案内

小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

神戸マリッジヘ（無料）

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介いたします。

《協賛店》

家具の戸戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき
紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや
旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は
事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510
コミュニティサービス内郵392-0200 小泉正巳

● 小山乃里子の

ノコ ちやん

華麗なる食べある記

△鹿皮 (ARAGAWA)
△103 レストラン
△104 寿司
△鹿皮 又平



★馬目備長で焼き上げる極上の炭焼きステーキ

木の重たい大きな扉を開けると、ぶらんと、まきの焼けたにおいがした。
なつかしい香りである。小さい頃ストーブにまきや石炭を入れるのが役目だったつけ。
大きな暖炉、もう春とはいえ、風の冷たい寒い日だから、うれしくなつてかけ寄った。

本当に、このだんろが似合う店である。木とれんが、それもピカピカに光った柱や、椅子の背もたれ。壁で人目をひくのは、鹿の首のはくせい。眼がなんともいえず可笑い。鹿の字を三つも並べて書く位だから、何かいわがあるのかと思えば、バルザックの小説の題名から店の名をつけたのだそうである。昭和二十六年の開業、生田神社の東門筋にあったが、昭和三十八年から、この回教寺院の通りに変った。それでももうここで二十年、とにかくおいしいステーキを焼き続けてこられたわけである。

ステーキの命はなんといつても肉。本場の但馬牛のみを使っているが、それも、生れて三ヶ月のべつこ（仔牛）を三田に連れて行き四・五才まで育てて牛肉に。（なんと未婚のめすのみだつて）三田は気候、草の状態などで、牛を育てるのには一番適した土地だという事だが、それでも、悠長でぜいたくな話ではないか。そうやって店に来た牛肉は、良質の肉の脂身の部分は取り去り、クシにさして、炭火でとろとろ焼かれるのである。この炭も、馬目備長といつて、備長の中でも特等品を使っている。

味つけは、塩とコショウのみ。肉を味わうにはソースはいらない。表面はこげ茶色に、ナイフを入れると、なんともいえない赤味がじわっと広がって、口の中で、そのうまみが倍増する。かたくもなく柔らかくもなく、適當な歯ざわりはさがである。

オードブルに鯛のテリーヌをいただいた。白身の鯛の中に、うすいピンクのサーモンが色どりを添えて、柔らかくてとてもおいしかった。
メニューによれば、他に、ターターマリアカラス風なんてのもある。自家製のフォアグラやスマーカー・モン

麺皮



▲左／小エビのサラダ 上右／鰯のテリーヌ 中央／サーロインステーキ

「おかげさまでニューヨーク店も好評を頂いております」
と田代弘行シェフ（中央）と福井豊豊マネージャー（右）



もおいしそう。サラダは、シュリンプサラダをいただく。あつさりしたドレッシングに、山盛りの小海老。

もう肉は少しおさえなくちやあ、という方向には、とりのグリルや魚貝類（ほたて貝など）の料理も頼める。ニューヨークの、セントラルパーク近くにも、おとと

しの六月に店を出したそうで、社長は只今長期出張中だった。焼けばいいみたいなアメリカのステーキを思い出し、知つてれば行つたのに、と一人くやんだものである。

フィレミニオンステーキ／6,000円／シャトーブリアンステーキ／12,000円／ロースステーキ／12,000円／サーロインステーキ／12,000円／フォアグラ／30,000円／テリーヌ／25,000円
中央区中山手通2丁目15-18番221-8547 正午～午後9時（ラストオーダー）無休 予約必要

□又 平

★「細雪」にも登場した、歴史と伝統の又平寿司

「大体、若い娘さん誤解してんちやうか。寿司食べたらふとる、と思ってんのとちがうかなあ、こんな美容食はないのに……」

椅子に腰かけるなり、のつけから又平のおやじさんはぼやく。

「一石二鳥ゆうけど、寿司は一石三鳥や。健康によし、美容によし、栄養はたっぷり、うちの酢なんか、りんご酢に蜂蜜に米酢が調合されてんやから、ほんまに身体に良いのになあ……」。

若い娘だつてお寿司は大好きのはず、と言おうとしてそういえば、「あんな、ごはんばっかりのもん食べたらよけいふとるからいや……」と、こないだも二十すぎのんに言われたつけ。「何言うてんのん、あんたもナウくなれえ、アメリカなんか見てごらん、にぎりはヘルシーフーズ、美容食やねんよ、お米も、ライスサラダなんて言われててもてやし、ニューヨークのお寿司屋さんなんて、ざらーっと並んで待つてのよ」と、ほんの少し知識をひろうしたら、彼女はニコニコ付いて來た。戦

又平



▲上左／信州蒸し 上中／にぎり寿司、岩戸寿司 上右／
鉄火巻き、穴子巻き、中央／いかだ寿司 右／付き出し
「寿司は美容食です。健康、美容に良し、栄養もたっぷり
だから太らないし美人になるヨ」と尾崎寿夫さん

前戦後、場所は少し変ったが、生田神社の西門前で店を出して、もう五十五年という。

林与一さんのおじいさん、又一郎さんの当り役“どもの又平”から、店の名をつけたといわれるよう、以前から、歌舞伎の役者さんや、俳優や歌手が、この店にはたくさん来る。といつて、彼等の色紙が並べてあるわけでもちろんない。色紙どころか、お品書きのたぐいも壁には一枚も見あたらない。

あるのは、一週に一度はみがき上げるという、大きな白木のカウンター（十五席）、水槽も、昔は置いたことあつたらしいが、今はその代り、お客様の名前を焼き上げた大きな湯のみ茶わんが、棚にすらりとならんでいる。

何よりネタが新しい。私は特に魚が大好きで、又平に行く時は、空腹もいいところで行くから、たいてい、「なんでもいいからにぎってえー」とわめいてしまうが、ちよつとおなかがおさまって来ると、いかだ寿司などもちらう。白身の魚をちよつと焼いてにぎつてある。その下にまだ身のついた骨もあぶつてあるから、それもコリコリと食べる。私が特に好きなのは、ちりにぎりである。今日はおこせだったが、日によって変わる。山椒こんぶと塩でしめた魚を入れて、とろろごぶで巻いた岩戸寿司、てつかの逆巻き。あわびつて妊娠が食へると、目のきれいな子供が生れるんだって知らなかつた。

おわんのふたをあけるとおそばだった。信州蒸し、とることで、季節によつてはこういう一品料理も出で来る一口で食べられる大きさだから、本当にいくつでも食べられる。私は、マンションのすぐ下にある御影店ばかり行つてたんだけど、この兄いさん面白いから、時々は三宮にも行こう、と決めて、「ごちそうさま…」

1人前／7000円位から おまかせ（吸物付、皿盛り）／2500円

岩戸寿司、いかだ寿司、信州蒸し他 中央区下山手通2丁目11-26（生

田神社西横門） 電331-0935 正午～午後10時 日曜定休 約必要

御影店／東灘区御影山手5丁目2-16

電841-33365

自立して街で暮らそう！

——神戸を訪れたエド・ロング氏の講演から

橋本 明（社団法人「家庭養護促進協会」事務局長）

国際障害者年から二年。今、欧米の各地では障害をもつた人たちの自立への試みがさまざまな形で行なわれている。もちろん日本の障害者もそれをめざして日夜努力を続けていることはいうまでもない。

この二月に「ボストン自立生活センター」の技術指導員であり、自らも進行性筋ジストロフィーで車イスの生活をしているエド・ロング氏が来神し、神戸市勤労会館で障害者自立運動について自らの体験をまじえながら貴重な講演が行なわれたのでその要旨を紹介したい。

ロング氏の勤務するボストン自立生活センターは、自立をめざす重度障害者の相談に応じたり、住宅や介護人の斡旋はもとより、所得保障の求め方、大学進学への促進など個人個人のニーズに応じた援助をしており、また重度障害者のために数ヶ月間モデルアパートで生活技術訓練を行い、地域で生活ができるような訓練サービスも行なっている。アメリカには約一五〇カ所ほどのような障害者のための自立センターがあるが、ボストンのセンターでは三〇〇人が訓練を受けており、その九〇パーセントが重度の障害者であり、アメリカの障害者自立運動に先駆けた役割を果たしてきている。

わたし自身のこと

私が六才の時、医者は私の両親に私が進行性筋ジストロフィーという難病で、おそらく十四、五才ぐらいまでしか生きられないだろうと言いました。でも私の両親は



難病と聞いながら障害者の自立運動をすすめる
エド・ロング氏

「私を他の子どもと特別扱いしない」と決め、買い物でも皿洗いでもなんでも工夫をしてさせました。学校は普通の子どもの通う学校へいきましたが、そこを終えて障害者の職業訓練校へ行つた時、まわりがみな障害者ばかりなので驚き、ショックを受けたものです。十七才の時、身体の具合が大変悪くなつたのでずっと一日中家のソファに横になつたままの生活が続きましたが、一人で家に閉じこもつてしまふようになると、何でもすごく恐れるようになつてしましました。アメリカでは子どもは十七、八才になると両親から独立して自立した生活をするようになりますが、私もチャンスがあつてボストンを離れてニューヨークに住むようになり、それが私の自立への旅立ちでした。私は今四十三才ですが、不可能と思われることでもやろうと思えばできるものだということ

を学びました。はじめからできないと思わずに、どうしたらできるかを考えることです。アメリカでは「一時的な健常者」といういい方をよくします。人間は時々病気になったり、骨折したり、妊娠をしたりして、障害をもつ状態になったり、またそれがなくなったりするからです。ある人は眼鏡をかけているし、補聴器をかけている人もいる。また、車イスにのっている人もいる。これらはみな同じことなんですね。太陽の光はみんなに平等にそぞぐのと同様、障害者もみんな同じ権利をもっているんです。もし私がこんな障害をもつていなかつたら、おそらくもっと小さなことしかできなかつたでしよう。大事なのは心のもち方、人生の受けとめ方なのです。

障害者自立運動について
「自立」という考え方は今特定の国だけでなく、世界的な動きになっています。アメリカの障害者的人権運動は一九五四年にアラバマ州の黒人による人権運動に端を発し、広がっていきました。私の住んでいたマサチューセツ州では最初いろんな障害者のグループが各々の利益のためにバラバラに要求を主張していたのですが、「障害者全部の利益のために」一致団結して行動するようになり、それが全米の組織となって二〇〇〇万人の障害者が参加し、法律を改正し、リハビリテーション法をも改正するようになりました。

私の勤めている自立センターで訓練をうけている人た

(上) 障害者の自立運動について講演するロング氏
(左) ボランティアとして働くビダーセンさん

ちも最初は病院で暮らしていた人がたくさんいます。その人たちは病人ではないのに、「障害」があるために他に行く所がなくやむを得ず病院にいたわけです。しかしほとんどの人たちが病院を出て「自立」した生活を望んでいたのです。一九七四年に、二人の学生が病院生活をやめて町で暮らしたいと考え、アパートを借りて自活を始めました。翌年にはさらに三十人がホテルで自立生活をはじめたのです。町の中のアパートや家で住むことがよいとみなが考え、実行しはじめたのです。アパートでまだ一人で暮らせない障害の重い人たちには自立センターのアパートで数カ月訓練をうけ、自立の技術を学びます。ただ、自立といってもアパートで一日中何もしないで暮らすことは自立でもなく、やはりそこから学校や職場へ通うことが大切なことです。障害者が地域で自立することによって建物の構造や設備を障害者が生活しやすいように変えていくことができるし、一般の人たちの障害者に対する態度も変り、またそれによって障害者自らの態度も変っていくのです。日本でも病院や施設を出て自立していくこうという人たちがでてきていますが、ただじつと待っていては自立した生活は望めません。いろんな運動をして社会に働きかけていくことが必要なのです。

ロング氏の講演と同時に、現在神戸市須磨区の神戸愛生園でボランティアとして働いているデンマーク人のリサ・ピダーセンさん（20才）が体験を報告。「ボランティア活動を通して私自身人間として成長しました。障害をもつた人たちの美しい気持を社会に伝えたい。デンマークでも障害者がどんどん町の中へ出て自立しようとしています」と上手な日本語で語りかけた。日本でも地域のなかでみんながともに暮らせるためのいろいろな試みがなされているが、アメリカの障害者自立運動は貴重な示唆を与えてくれるだろ



野鳥が憩う兵庫運河を 街づくりの拠点に

樹井直三郎 ▼歌人▼

★心に染みついた運河の
思い出

私の父は絶の船頭だった。昭和五、六年頃、父に連れられて、その寄場へ行つて目刺しや鮭のおかずで弁当を食べた。そこは中央市場の北の運河を内側へ入った最初の橋、築島橋から入江橋へ直角に曲つた、今の地図でいえば船大工町の角のあたりではなかつたかと思う。私が六、七歳の頃である。

昭和十年、三菱職工学校

で神戸を離れるまで三菱神戸造船所の職工として、兵庫駅の南、いわゆる「駅裏」の路地の家から毎日西宮内の商店街を通り、清盛塚の側の運河にかかる第五橋を渡つて通つていた。

★兵庫運河で発見した

河」という言葉を聞いただ

私は運河が好きだ。「運

新しい世界



魚釣りも楽しめるようになった兵庫運河

けで、私の心中にばあーと広がるものがある。運河

に私が心惹かれるのは、幼少期に心に染みついたものがあるかも知れない。しかし、私がほんとに運河が好きだと言えるようになったのは、ここ七、八年前から

である。病後の運動に、と今の私の家から歩いても五分ばかりの高松橋から、浜中町、材木町へかけて運河最大の時木場のあるところまで行くようになつてからである。そこである夏の朝、

そうした運河通いのうち

★運河に漂う兵庫の匂い
近な兵庫運河である。それから休日で家にいれば必ず運河へ双眼鏡を持つて出かけるようになつた。行動範囲を伸ばすためにミニサイクルを買った。イソギ、コチドリ、カイツブル、ゴイサギが運河に来ることを知つた。ユリカモメのしなやかな飛翔も今までに感じられなかつた新鮮なものに思えるようになつた

鳥が、原木の間を漁つていいのを見た。その鳥をしきり見たいと思つて双眼鏡を買い、鳥の図鑑を買、それがキアシシギであることを知つた。コアジサシも知つた。ハクセキレイも知つた。五十歳を過ぎて今まで知らない世界を見た。しかもそれが、全く身

近な兵庫運河である。それから休日で家にいれば必ず運河へ双眼鏡を持つて出かけるようになつた。行動範囲を伸ばすためにミニサイクルを買った。イソギ、コチドリ、カイツブル、ゴイサギが運河に来ることを知つた。ユリカモメのしなやかな飛翔も今までに感じられなかつた新鮮なものに思えるようになつた

120種類もの豊富な
「かねてつ」製品。
さまざまな味覚
お楽しみください。
「かねてつ」に生まれる
百味漫遊

ORIGINAL
TABI **Tabifuku** タビ福

本店 塚本通3丁目 ☎ 575-8868
センターブラザ西館2F ☎ 332-3500
センターブラザ2F ☎ 332-2767
メトロこうべ・神戸タウン ☎ 341-0439
さんプラザ3F ☎ 391-3720
■ 株式会社 タビ福
ローソン柳原店 ☎ 576-0330

お好み焼
美 丁
Yoshicho

福原金比羅宮西入ル ☎ 575-7913
平日・PM3～PM10:30
金土日・AM11:30～PM10:30
水曜日定休日

香り一番 味一番
サックリうまい
と いち
一の
奈良漬

かねてつ

対する答えが冒頭の言葉

に、鳥にだけではない、運河そのものの持つ「兵庫の匂い」といったものに惹かれるようになつた。

歩み来る人ら貧しき運河

★レストランの夢を実現

理想の店づくりを

「ステーキが、車海老が伊勢海老が本当に旨い店を開きたかった」と熱っぽく語るのが西日本青果の五熊健二社長。長年の思いがかなつて、3月1日神戸南京町にレストラン「花扇」をオープン。

西日本青果といえば兵庫区の中央卸売市場を基

点に活躍している貿易会

社。その社長が何故にレ

ストランを?との問い合わせ

に対する答えが冒頭の言葉



に、鳥にだけではない、運河そのものの持つ「兵庫の匂い」といったものに惹かれるようになつた。

歩み来る人ら貧しき運河

★レストランの夢を実現

理想の店づくりを

「ステーキが、車海老が伊勢海老が本当に旨い店を開きたかった」と熱っぽく語るのが西日本青果の五熊健二社長。長年の思いがかなつて、3月1日神戸南京町にレストラン「花扇」をオープン。

西日本青果といえば兵庫区の中央卸売市場を基

点に活躍している貿易会

社。その社長が何故にレ

ストランを?との問い合わせ

に対する答えが冒頭の言葉



兵庫運河を散策する筆者

これは兵庫運河では

なく、横浜

集「運河周辺」

これは兵

庫運河では

なく、横浜

集「運河周辺」

これは兵

庫運河では

の岸豆炭

製造所製

材所など

並びて

葛原繁歌

の岸豆炭

製造所製

KOBE MODERN CULTURE



美術

★「小磯良平のすべて」

県立近代美術館で開催

4月9日(土)～5月8日(日)

兵庫県立近代美術館 午前10時～午後5時(入館は4時半まで)月曜休

入場料／一般・800(650)円

高大生・600(450)円 小学生・300(200)円 カッコ内

は前売・团体



踊り子像(1939年)



上村松算回顧展より

わが国現代洋画壇の巨匠
小磯良平画伯の60年におよぶ画業を集成した「画業

60年・小磯良平のすべて」

が4月9日より画伯ゆかりの神戸で開催される。

画伯のモチーフは主として人物画だが、特に婦人像は有名。気品あふれたさわやかな画風は多くの人々を魅了してきた。

今回の出品作品は画伯自選の油彩、パステル、デッサンなど約180点。小磯

芸術の全貌を知るにふさわしい大回顧展である。

★神戸の音楽家たちによる春のコンサート

4月10日(日) 2時

神戸文化ホール

高校

生まで・1800円、全席自由席

神戸文化ホール開館10周年を記念して、神戸の音楽

ホテル 一般・2300円 高校

生まで・1800円、全席自由席

神戸文化ホール開館10周年を記念して、神戸の音楽

ホテル 一般・2300円 高校

生まで・1800円、全席自由席

神戸文化ホール開館10周年を記念して、神戸の音楽



指揮／延原武春

による盛り沢山の協奏曲の演奏会が開かれる。

独奏は人気ピアニスト伊藤ルミ、長年のキヤリアを

誇るマリンバの宮本慶子、

オペラによる活躍中のソ

プラノ安芸栄子、多彩に活

躍のテノール松本幸三、活

発な活動を続けているピア

ノの武谷安子と清水淳彦、

トーベンなど軽快に楽しめる

プログラムとなつていて

ら最新作「雁金」にいたる代表作約50点が展示される。

特に花鳥画の第一人者と高く評価されている。今回は

帝最初入選「閑庭迎秋」から

「上村松算回顧展」に愛読者ベア

年令、職業を明記して神戸っ子編集室「上村松算回顧展」係まで

★ザ・コンチャエルト
林ゆ美子・佐野健二
年令、職業を明記して神戸っ子編集室「ザ・コンチャエルト」係まで、締切8日

4月14日(木) 7時 ザ・シン

ニーホール 3000円

故林幸光の三女・林久美



林 ゆ美子 佐野 健二 林 久美子



林 ゆ美子



佐野 健二



林 久美子



スポーツ

★神戸新聞創刊85周年記念
チャリティ大相撲神戸場所



手代の富士(右)

小学生からお年寄まで幅広く親しまれ、その人気とファン層の厚さに支えられ

る日本の伝統ある国技、大相撲の神戸場所。財日本相撲協会の援助により、横綱以下勢330名の力士による大相撲が、20数年ぶりに神戸で見ることができ

★今村昌平監督
超大作「檜山節考」
昭和31年中央公論新人賞
を受賞した深沢七郎の名作
を映画化。信州の山深い寒



村を舞台に、死を目前にした人間の生き方を土俗的な哀切の中に描き上げる。「単なる幻想物語であつてはならない。戦後の風潮である疑似ヒューマニズムをあえて否定する立場をとり、徹底したリアリズムで厳しい労働とセツクスを存分に描く」と今村監督。

音 樂

★坂本恵子ピアノリサイタル
9日(土) 15:00円
10日(日) 10:00円
★神戸の音楽家たちの競演「春の
コンサート」
10日(日) 2時 神戸文化大ホール
一般／2300円 高校生
まで／1800円
★雅楽スプリングコンサート
14日(木) 6時半 神戸文化大
ホール 2800円

★モーツアルト／歌劇「後宮よりの逃走」序曲 K.384
コロラトゥーランブラン／林久美子 ギター／佐野健二 ピアノ／木戸美子

14日(木) 7時 ザ・シンフォニーホール 3000円
★福井和代ソプラノリサイタル
18日(月) 7時 県民小劇場
2000円

コンラート・ユングヘーネル
リュート演奏会

演劇

19日(火)	6時半	神戸市立博物館1階ロビー
20日(水)	3時00分	神戸音楽サロン第1回
21日(木)	5時半	神戸屈月堂
22日(金)	5時半	神戸屈月堂
23日(土)	5時半	神戸屈月堂
24日(日)	5時半	神戸屈月堂
25日(月)	5時半	神戸屈月堂
26日(火)	7時	神戸文化大ホール
27日(水)	7時	県民小劇場

★島田好子第24回バレエ発表会
2日（土）2時 神戸文化大丸
1ル 2000円
★第41回グリーンステージ
創作邦舞「心美の会」
27日（水）1時 神戸文化中ホール
2000円
★'83真松・浜田バレエ工学園発表会
29日（金）3時半 神戸文化大
ホール

神戸文化財展	4 / 3
★満蒙美術館	12 / 15
唐津・有田高取、萩など—朝	1 / 4
陶器を運んで—4 / 1を7	5 / 7
★エンバ中国近代美術館	10 / 19
中国現代陶磁習作展シリーズN.7	23まで
陶板香雪美術館	7 / 10
★三越美術館	1 / 3
花生名品展	7 / 10
女流陶芸展	4 / 10
依田邦子油絵展	3 / 10
少女を描く油絵展	29 / 10
少女性	29 / 10
少女性	12 / 10
少女性	5 / 10
少女性	1 / 10

美
術

★市民映画劇場「泥の河」
 14日(木) 15日(金) 6時半
 16日(土) ①2時 ②6時半 神
 戸文化小ホール 499円

★島田好子 第24回バレエ発表会
2日（土） 2時 神戸文化大丸
1ル 2000円
★第41回グリーンステージ
創作邦舞「心美の会」
27日（水） 1時 神戸文化大丸
1ル 2000円
★'93貞松・浜田バレエ工学園発表会
29日（金） 3時半 神戸文化大
ホール

神戸文化財展	4 / 3
★満蒙美術館	12 / 15
唐津・有田高取、萩など—朝	1 / 4
陶器を運んで—4 / 1を7	5 / 7
★エンバ中国近代美術館	10 / 19
中国現代陶磁習作展シリーズN.7	23まで
陶板香雪美術館	7 / 10
★三越美術館	1 / 3
花生名品展	7 / 10
女流陶芸展	4 / 10
依田邦子油絵展	3 / 10
少女を描く油絵展	29 / 10
少女性	29 / 10
少女性	12 / 10
少女性	5 / 10
少女性	1 / 10

★兵庫県立近代美術館
小磯良平のすべて 4 / 9 - 11
柳原義達展 5 / 21 - 6 / 1
★神戸市立博物館
民族学者梅棹忠夫の写真展

美術

★満蒙美術館	神戸文化財展
唐津、有田 陶器を選んで 1/4~1/17	4 / 12 1 / 5 / 29
★エンバ中國近代美術館	
中国現代陶磁習作展シリーズNo.7 香雪陶板	5 / 23まで
★三越美術館 花生名品展	4 / 1 / 7 / 10
女流陶芸展	
依田邦子油絵展	3 / 29 / 29 / 29
少女を描く油絵展	4 / 12 / 5 / 10
少女性を描く油絵展	4 / 10 / 10